

2022年2月17日

## 2023年度4月入学

### 工学府改組に伴う博士後期課程入試の変更について(予告)

工学府では、2023年4月から改組を計画しており、この改組が認可された場合、2023年度以降の博士後期課程入学者選抜方法について以下のとおり変更を予定しています。この内容は文部科学省の審査において改組が認められることを前提とした予定であり、変更される場合があります。改組計画に変更があった場合は本学ウェブサイト等で随時公表しますので、定期的に確認してください。

なお、現専攻を募集単位とした2022年度10月入学の学生募集は通常通り実施します。現専攻での学生募集については、2022年5月初旬に公開予定の学生募集要項を参照してください。

#### 博士後期課程改組の概要

2023年4月から、工学府博士後期課程において現行の4専攻(生命工学専攻、応用化学専攻、機械システム工学専攻、物理システム工学専攻、電子情報工学専攻)を再編し、工学部の6学科、博士前期課程の6専攻に対応する6専攻(生命工学専攻、生体医用システム工学専攻、応用化学専攻、化学物理工学専攻、機械システム工学専攻、知能情報システム工学専攻)とする改組を予定しています。

#### 1.募集人員

募集人員を以下の通り変更します。

専攻名	募集人員
生命工学専攻	14人
応用化学専攻	14人
機械システム工学専攻	13人
電子情報工学専攻	15人
計	56人



専攻名	募集人員
生命工学専攻	14人
生体医用システム工学専攻	5人
応用化学専攻	10人
化学物理工学専攻	6人
機械システム工学専攻	14人
知能情報システム工学専攻	10人
計	59人

## 2. 選抜方法

選抜は学力試験及び書類審査を総合しておこないます。提出書類及び学力試験の方法に変更はありません。

## 3. 入学試験の実施時期

2023年度4月入学の学生募集は、文部科学省によって改組計画が認められた後、すみやかに学生募集要項を公表して実施します。例年とは出願や試験の時期が異なることに注意してください。現時点では、以下の日程での実施を計画しています。

7月上旬	学生募集要項公開
7月下旬	第1期入試出願受付
9月上旬	第1期入試学力試験
9月中旬	第1期入試合格発表
12月初旬	第2期入試出願受付
12月中旬	第2期入試学力試験
1月中旬	第2期入試合格発表
2月下旬	第3期入試出願受付
3月初旬	第3期入試学力試験
3月中旬	第3期入試合格発表

※上記日程はあくまで予定であり、文部科学省によって改組が認められる時期によって延期・変更される可能性があります。その場合は本学ウェブサイト等で改めてお知らせします。正式な日程は学生募集要項に掲載します。

## 教育目標・アドミッションポリシー

工学府は、自然環境と科学技術に関心を持ち、常に自己を啓発し、広い知識と視野を持ち、高い自主性と倫理性に支えられた実行力を有し、国際社会で活躍できる技術者・研究者を目指す学生を国内外から広く受け入れる。最近の科学技術の発展は目覚ましいものがあり、技術・情報が高度化、先端化すると同時に種々の専門分野に関連する境界領域や総合領域における発展も著しい。工学府は、このような時代の要請に対応する科学と工学の基礎学問から先端応用技術に至る広範囲の研究教育を教授し、幅広い学識と高度の研究能力を有する独創性豊かな学術研究者、専門技術者を養成することを目的と特色としている。

教育研究の目的、および人材養成の目的をふまえ、工学府は、以下のような人材を求める。

- ①幅広い視野と専攻分野を学ぶための十分な基礎学力をあわせもち、高い倫理性を身につけた者。
- ②大自然の真理に対する探求心とモノ作りマインドを持ち、理工学分野の科学技術に関心があり、研究を通じて主体的に考え、他人と協力・協働して、研究課題の解決や社会の発展に貢献する意識の高い者。
- ③人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察・判断して研究課題を自ら設定することができ、その課題に果敢に挑戦する意欲のある者。
- ④日本語、外国語を問わず、高いコミュニケーション能力を有する者。

## 生命工学専攻

国際性、コミュニケーション能力、国内外の学会発表や論文発表ができる能力を身につけさせ、最先端の生命工学の専門家として、現代社会のニーズに即応して活動でき、新たなニーズの発掘とシーズの発見能力に富んだ、研究者・専門家・職業人として社会の中核で活躍できる人材の養成を目的とする。よって、次のような人材を求める。

- ①生命工学分野の最先端の研究に取り組むための化学・生命科学・工学に関する高度な専門知識と学力を持ち、分野を先導する研究者に不可欠な俯瞰的な視点と高い倫理性を身につけた者。
- ②生命工学分野の最先端の研究に対する探求心を持ち、学際的かつ国際的に協力・協働して、社会的に貢献したいという強い意志を持つ者。
- ③人類が直面している諸課題に対し、生命工学分野の最先端の専門知識や高度な解析能力・洞察力に基づいて主体的かつ論理的に研究課題を設定し、技術革新や未踏の技術の立案・独創的な先端研究に果敢に挑戦する意欲のある者。
- ④研究成果を国際的に発信するために必要な優れた語学力と高いコミュニケーション能力を有する者。

## 生体医用システム工学専攻

現代医療の根幹を支える生体医用工学の先端技術および関連する専門知識を修得させると

もに、異分野の専門家との協働を通じて、バイオメディカルイノベーションプロセスに基づいた実践的な研究開発能力を有し、多種多様な産業分野のシーズを医療・ヘルスケア機器開発に橋渡しできる、高度で知的な素養を備えた、国際社会でリーダーとして活躍できる研究者・専門家・職業人の養成を目的とする。よって、次のような人材を求める。

- ①生体医用工学分野を学ぶための幅広い視野と十分な基礎学力をあわせもち、高い倫理性を身につけた者。
- ②自然科学に対する探求心とモノ作りマインドを持ち、生体医用工学分野の研究に関心があり、これらの分野での活動を通じて主体的に考え、専門分野の境界を越えた複数の研究者、技術者、専門家等と協力・協働して、研究課題の解決や社会の発展に貢献する意識の高い者。
- ③人類が直面する健康・医療・衛生等の諸課題に対し、多面的に考察・判断して研究課題を自ら設定することができ、新しい研究領域や医療・ヘルスケア技術開発につながる研究に果敢に挑戦する意欲のある者。
- ④日本語および英語による高いコミュニケーション能力を有する者。

#### 応用化学専攻

自然・生命・環境・エネルギー等の分野に関連する化学者・材料科学者として、高度専門的な科学技術の発展を国際的に先導し、安全安心な持続型社会の形成に貢献する人材の育成を目的とする。よって、次のような人材を求める。

- ①化学および物理分野や関連分野の体系的かつ豊かな基礎学力を有し、研究者や技術者に必要な倫理観を有する者。
- ②化学物質に対して、原子・分子レベルの視点から新しい価値を創出し、その分野の世界トップレベルの専門家として社会的・国際的に貢献する意欲と積極性に富んだ者。
- ③自然・生命・環境・エネルギー等の分野に関連する化学・材料科学分野において、学術的・産業的な観点から自ら研究課題を設定し、豊かな知識を総合して主体的に研究に取り組むことで、未踏の学理の追究、新しい研究領域や科学技術の開拓に果敢に挑戦する意欲を有する者。
- ④日本語および英語での優れたコミュニケーション能力を有し、世界に向けて研究成果の発信ができる者。

#### 化学物理工学専攻

化学工学と物理工学を統合的に理解することで、エネルギー、環境、新素材等に関連する諸問題を解決する能力と、解決過程において先導的役割を果たす高度専門的指導力を有し、持続型社会の形成に貢献し社会的・国際的に活躍する技術者・科学者の養成を目的とする。よって、次のような人材を求める。

- ①化学・物理・数学・英語等、化学工学・物理工学分野を学ぶための十分な基礎学力と修士レベルの研究能力を持つとともに、幅広い視野と高い倫理観を身につけた者。
- ②エネルギー・地球環境・医薬/食品・素材/材料、あるいはそれらの課題解決の基盤となるプロセ

ス技術・計測技術等に関連する化学工学・物理工学分野の研究に関心と研究実績があり、これらの1つ以上の分野での世界最先端の研究活動を通じて社会的・国際的に貢献したいという意欲を持つ者。

- ③人類が直面している諸課題に対し、化学工学・物理工学の統合的理解と活用によって多面的に考察・判断して研究課題を自ら設定することができ、その課題の解決に向けて一人の自立した研究者として果敢に挑戦する意欲のある者。
- ④日本語、外国語を問わず、高いコミュニケーション能力を有し、口頭および文章で研究の議論を行うことができる者。

### 機械システム工学専攻

数学・物理学の高い基盤的解析能力と機械システム工学の幅広く深い専門知識に基づいて、環境と調和して持続発展可能な科学技術立脚社会をグローバルスケールで実現するための Unique & Best な先端的機械システムを設計・創造し、世界の社会・文化に関する深い理解・洞察と豊かなコミュニケーション能力で国際的に活躍できる高度な技術者・研究者を養成することを目的とする。このために、次のような人材を求める。

- ①機械システム工学の最先端の研究に取り組む高い学問的応用能力があり、専門分野での国際的活動を通じて人類・社会に貢献したいという強い意志を持つ者。
- ②数学・物理学ならびに機械システム工学分野において高度な解析能力・専門知識・洞察力に基づいて問題を発見・解決する能力を有するとともに、新しい研究領域や融合的領域における研究課題に対応できる柔軟な思考力を持つ者。
- ③機械システム工学の各専門分野において、自ら開発目標を発見し、実験・解析のルーティンを具現化し、考察・議論を展開できるような知的的好奇心と洞察力を身につけている者。
- ④研究成果を国際的に発信するために必要な語学力および科学技術の多様化を担える適応能力を持つ者

### 知能情報システム工学専攻

現代社会の根幹を支える知能情報システム工学の先導的な学識を教授し、自立した研究者に相応しい課題発掘能力、実践的研究能力、技術開発の展開能力、国際性と情報発信能力、社会ニーズに対する柔軟性などを滋養して、実践的な研究開発能力を有する人材の養成を目的とする。

- ①幅広い視野と知能情報システム工学を学ぶための十分な基礎学力をあわせもち、高い倫理性を身につけた者。
- ②知能情報システム工学の分野の研究に関心があり、それらの分野での活動を通じて社会的・国際的に貢献したいという意識が高い者。
- ③人類が直面している諸課題に対して、知能情報システム工学に関する基礎知識に基づいて多面的に考察・判断して研究課題を自ら設定することができ、その課題に果敢に挑戦する意欲の

ある者。

- ④日本語、外国語を問わず、高いコミュニケーション能力を有する者。